



202 年 10 月 15 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

「未来創生ファンド」投資先企業に関係する科学者 2 名がノーベル賞を受賞

スパークス・グループ株式会社（以下、当社）は、当社子会社でスパークス・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長・CEO 阿部修平）が運営する「未来創生ファンド※」の投資先企業に関係する科学者 2 名が、2025 年のノーベル賞を受賞しましたので、お知らせいたします。

未来創生ファンドは、最先端の技術、ビジネスモデルを有する国内外の企業・プロジェクトに対する投資とともに、投資先企業やプロジェクトの価値向上を支援しております。

■受賞者と未来創生ファンド投資先企業

1. ノーベル化学賞：北川 進 氏（京都大学理事・副学長、高等研究院特別教授）

関係企業：株式会社 Atomis

北川氏は、多孔性配位高分子（PCP/MOF）技術の世界的パイオニアとして、学術的・産業的価値の拡大に多大な貢献をされています。Atomis 社では、科学顧問を務められ、同社は北川氏の技術を基盤に、気体の吸着・貯蔵技術を活用した革新的なソリューションを開発、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めています。

2. ノーベル物理学賞：John M. Martinis 氏（カリフォルニア大学サンタバーバラ校 名誉教授）

関係企業：Nano Quantum Technologies 株式会社（Nano QT）

Martinis 氏は、量子コンピュータの基礎技術に関する研究で世界的な評価を受けており、Nano QT 社ではアドバイザーとして技術開発を支援しています。同社は、量子コンピュータのネットワーク化技術を開発し、量子技術の実用化を目指しています。

■未来創生ファンド統括責任者 出路 貴規 コメント：

「このたび、未来創生ファンドの投資先企業に関係するお二人がノーベル賞を受賞されたことを大変嬉しく思います。ノーベル賞を受賞するような素晴らしい技術を 1 日も早く社会実装するために、スタートアップ企業への支援を通じてサポートしてまいります。」

■※「未来創生ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50



社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。そして、2021 年 10 月から未来創生 2 号ファンドの 5 分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社 をファンド運営者とした未来創生 3 号ファンドの運用を開始しました。2025 年 9 月末時点の運用資産残高は、1 号、2 号および 3 号をあわせて、1,044 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績： <https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■本お知らせは、当社グループの事業内容をご理解いただくために、当社グループ会社の事業に関する情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

■本件に関するお問い合わせおよび取材について

スパークス・グループ株式会社 広報室

TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101

pr_media@sparxgroup.com